



桜美林大学大学院 2025年度Ⅰ期入試
心理学実践研究学位プログラム
ポジティブ心理分野 公認心理師コース

論述試験 問題用紙

受験番号	氏名

- * これは問題用紙です。答えは解答用紙に記入してください。
- * 用紙が配布されても合図があるまで開かないでください。
- * 試験中、監督の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
- * 不正行為に対しては厳正に対処します。
- * 試験終了後、問題用紙も回収しますが、メモなどは消さなくてもかまいません。

以下の問題について 800 字以上で回答してください。（回答時間：50 分）

解答欄が不足する場合は裏面などを利用してください。

スマートフォン、インターネット等で検索をすることは厳禁です。

問題.

あなたはスクールカウンセラーとして中学校に勤務しています。ある日、保護者から担任に「子どもが、もう学校には行かないと話している。理由を訊ねても黙ったまま話さない。」と連絡が入り、対応をすることになりました。

後日、その生徒と校内で面接することができましたが、生徒は「学校に行かない理由は話したくない。でも、他の人に話さないと約束してくれるなら、先生（あなた）にだけ理由を話してもよい。」と切り出してきました。

あなたはどのように対応するか、およびその理由について、下記の公認心理師法を参照した上で述べてください。

公認心理師法第 41 条：公認心理師は、正当な理由がなく、その業務に関して知り得た人の秘密を漏らしてはならない。公認心理師でなくなった後においても、同様とする。

公認心理師法第 42 条：公認心理師は、その業務を行うに当たっては、その担当する者に対し、保健医療、福祉、教育等が密接な連携の下で総合的かつ適切に提供されるよう、これらを提供する者その他の関係者等との連携を保たなければならない。

MEMO ご自由にお使いください。
